

あさひ

一陽会広報誌

平成29年
夏号
vol.54



題名「高千穂峡」

撮影：地域連携室 梶浦拓也

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。
 - 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。
 - 3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。
- 一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者の権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有します。
一陽会職員は患者のプライバシーの保護に努め、患者により選択された医療の提供を行います。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有します。
一陽会は患者に必要な情報提供と説明を行い、インフォームドコンセント(納得診療)を適切に行います。
- 3 患者は医療機関の選択の自由の権利を有します。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援します。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

新任医師紹介

今年4月より、新しく3名の医師が就任いたしました。



内科／腎臓内科
芦谷 亜季 医師

大分大学 医学部(平成22年卒)
日本内科学会 認定内科医

平成29年4月より原田病院へ着任致しました芦谷亜季と申します。

広島大学病院にて初期研修修了後、広島総合病院、呉共済病院、柳井医療センターで、主に腎疾患・透析療法に携わってまいりました。平成27年に広島大学大学院へ入学し、現在は慢性腎臓病に関する臨床研究にも携わらせて頂いております。

一日でも早く慣れ、原田病院の一員として、近隣の諸先生方と連携を取りながら、地域の皆さまのお力になれるよう精一杯地域医療に貢献して参りたいと思います。

まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



内科／腎臓内科
長崎 孝平 医師

獨協医科大学(平成24年卒)
日本内科学会 認定内科医

4月より原田病院で勤務しております、長崎孝平と申します。栃木県の獨協医科大学卒業後、広島大学病院で研修し、腎臓内科を専攻とし呉共済病院で3年間勤務の後、原田病院へ着任致しました。約3年前、初期研修の際に1ヶ月だけですが原田病院で研修させていただき、患者さんに対してのみならずスタッフ同士でもとても丁寧で暖かく、研鑽されており、ここで働きたいと感じたのを覚えています。

これから原田病院の一員として働けること、そして新天地にて様々な方にお会いできることを楽しみにしております。

まだまだ未熟者で至らぬ点多々あるとは存じますが、地域の皆さまのお役に立てるよう日々精進して参る所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



内科
原武 大介 医師

広島大学 医学部(平成24年卒)

平成29年4月より原田病院に内科医として勤務しております原武大介と申します。昨年は広島市立安佐市民病院総合診療科で安佐北区の地域医療に微力ながら係らせていただきました。

その経験を生かして地域の皆さまにとってより良い医療を実践できるよう、笑顔と丁寧な説明をモットーに日々の診療に努める所存です。また、まだ経験が浅く不勉強なため近隣の先生方にはご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

言語聴覚室 開設

リハビリ室内に「言語聴覚室」を設置しました。

言語聴覚室を新たに設置し、落ち着いた環境で、食べることや飲み込むことに障害がある患者さん、言葉や聞こえなどのコミュニケーションに問題がある患者さんへの評価・訓練・指導などを行う環境が整いました。

脳卒中や頭部外傷によって脳に損傷を受けると、言葉などコミュニケーションに必要な機能に障害をきたすことがあります。言語聴覚士(ST)は、コミュニケーションに何らかの問題をきたしている患者さんに対し、各機能の改善を促進させる訓練、残存能力を利用した日常生活および社会生活を営むための援助、患者さんやその家族の方に対する症状の説明、また心理的ケアなど、様々な側面からのリハビリを行っています。

言語聴覚室が開設されたことにより、落ち着いた静かな環境で集中して検査やリハビリに取り組むことが可能になりました。

リハビリは地道で非常に長い道のりですが、そのような患者さんやご家族の「水先案内人」であることを常に念頭に置き、日々リハビリテーション業務に取り組んでまいります。



言語聴覚士 難波江 経史

「最先端で良質な医療の提供を目指しています」

今回は佐伯区五日市中央にあります「くが眼科医院」のご紹介です。

西広島バイパス付近(フレスタ波出石店の横)で開業しております、くが眼科医院の久賀と申します。当院は昭和55年に父・久賀宣人が開院し、地域の皆さまと共に歩みながら年月を重ね、平成23年4月に、私、久賀宣幸が医院を継承致しました。平成29年1月からは副院長として戸栗一郎医師も就任し、診療に当たっております。院長、副院長共に九州大学卒・九州大学眼科医局出身ですので、治療方針は同じです。

生まれ育った五日市の地に、今まで培ってきた眼科医としての知識と経験を通じて貢献していきたいと願っております。

当院は白内障手術をはじめとして瞼や涙、網膜の手術から老眼手術、近視矯正手術まで眼科領域の手術を幅広く行っております。手術は日帰りでも行っておりますが、原田病院・重本憲一郎院長のご厚意で原田病院に入院しての手術も可能ですので、体調



が心配な方、遠方の方、おひとり暮らしで通院が難しい方も安心して御相談下さい。



くが眼科医院
院長 久賀 宣幸



- 所在地 〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央7丁目12-1
TEL:(082)923-8904 FAX:(082)922-5916
- 診療科目 眼科
- 診療時間 午前 9:00~12:30
午後14:30~18:00
- 休診日 土曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 10台

「お名前をどうぞ。」

お名前の確認は医療安全の基本です。

同性や似た名前はたくさんあり、治療にはたくさんの医療従事者がかかわっています。万が一、間違いが起きると大きな事故につながることもあるため、当院ではご本人にフルネームを名乗っていただくことで確認しています。

ご理解とご協力をお願いいたします。

原田病院 院長 重本 憲一郎



低栄養透析患者の 栄養指導について



透析情報科
主任 菅由香里

近年、高性能なダイアライザ（人工腎臓）とオンラインHDF（血液透析濾過）の普及により透析効率がよくなりました。透析患者さんには元気で活発な日常生活を送り毒素がたくさん抜ける透析を必要とする方がいる反面、食事制限があるため栄養状態不良の方が多く、エネルギーや蛋白摂取不足による体重減少が生じやすい傾向にあります。透析治療による蛋白やアミノ酸漏出なども栄養状態低下傾向となる原因の一つです。毒素がよく抜ける治療を行おうとすると栄養素が抜けてしまいます。医師や透析室スタッフが各患者さんの体調や状態を診て適した透析条件を提供していますが、いくら良い性能の装置や医療材料を使用しても患者さん自身がバランスのよい食事をしっかり摂っていただかないことには体調を良好に保つことは困難であり、良い治療を提供することはできません。栄養状態が不良となる原因は、保存期の蛋白を制限した食事からの切り替えができていない、嗜好性に偏りがあり必要な栄養が摂れていない、独居で歩行困難があり食事の準備が困難である、透析が不足している等様々です。

栄養状態が良好な患者さんは栄養状態不良の患者さんに比べ体調を良好に保つことができ、寿命も長いことがデータにはっきりと出ています（図1）。透析患者さんは必要な栄養素が透析で多少抜けてしまうため、エネルギーや蛋白質をしっかり摂らなければならないのです。透析不足に関しては多くの患者さんが週3回4時間透析ですが、健常人では1日24時間働き続けている腎臓の機能を2日に1回4時間しか代行できていないということになり、透析時間が明らかに不足していることがわかつています。

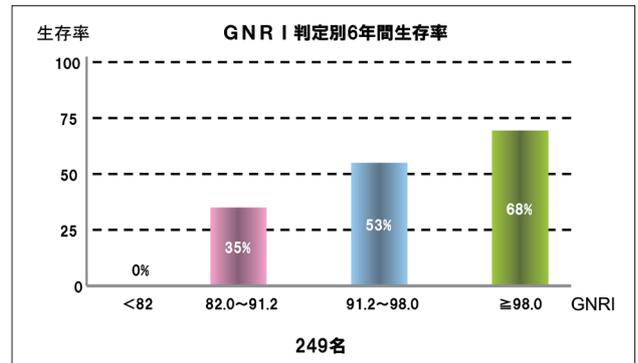


図1

一陽会の4施設の透析室では各施設に看護師と臨床工学技士で構成された栄養チームを立ち上げ、血液検査データを利用したGNRI（Geriatric Nutritional Risk Index）という栄養スクリーニング法を用いて毎月全透析患者さんの栄養状態をチェックしています。

・GNRIの算出式

$$\text{GNRI} = 14.89 \times \text{血清アルブミン値 (g/dl)} + 41.7 \times (\text{DW}/\text{IBW})$$

*IBWはBMI=22となる体重

*DW>IBWの場合は、DW/IBW=1とする

・BMI：Body Mass Index：体格指数

・DW：体に余分な水分がたまっていない状態の透析患者さんの基準体重

GNRIが91.2未満を栄養状態リスク群とし、リスク群から離脱していただくため、また陥らないための食事指導や透析条件の検討を行っています。一陽会グループ全体で栄養状態リスク群の患者さんは34%存在します（図2の赤とピンク部分）。そして、栄養状態リスク群の透析患者さんは年々増加傾向にあるのです（図3の赤い部分）。食事指導は医師と透析室スタッフの看護師と臨床工学技士が治療の合間に時間を確保して行ってきましたが、栄養学は奥が深く栄養素の摂取方法にも様々なパターンがあるため食事に関するアドバイスを行う上で多くの知識を必要とされます。一生懸命栄養について勉強し指導していますが医師と透析室スタッフによる栄養指導には限界があることを感じてきました。一陽会クリニック、横川クリニック、イーストクリニックでは原田病院から管理栄養士を派遣

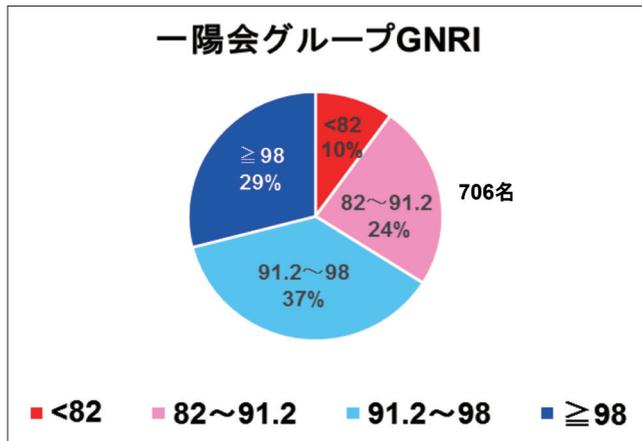


図2 2016年12月現在

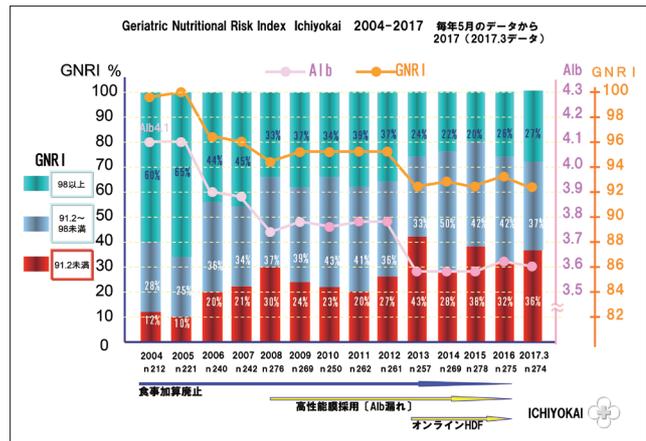


図3

し栄養指導をしています。透析患者数の増加と高齢化により食事指導が必要な患者さんが年々増加していること、管理栄養士の人員不足があり継続的な栄養指導が行えていないのが現状です。ふり返ってみると一陽会では、医師と透析室スタッフによる栄養指導と管理栄養士による栄養指導がそれぞれ独立したものとなっていました。そして、長生きしていただくためカリウム、リンの摂取量に気をつけていただく指導を中心としており、食べていただく指導に力を入れていませんでした。食べていただく指導に切り替え始めてから3施設のクリニックでは栄養補助食品を透析室で販売する等、少しでも多くのエネルギーを摂取してもらおう取り組みも行ってきましたが改善が困難であるのが現状です。



管理栄養士による栄養指導



上腕周囲長の測定

そこで、我々は栄養状態リスク群の患者さんを減少させることを目標とし、一つの取り組みを行ってみることにしました。管理栄養士に毎回同じ患者さんを指導してもらう。そして、各職種が独立して指導していたものを一つのチームとなり指導していく。このように形を変えることで管理栄養士は透析以外の時間の過ごし方など、患者背景をこれまで以上に情報収集することが可能となり、各職種の得意分野を生かしながら情報交換をしていくことで、より充実した栄養指導ができるのではないかと思います。この取り組みは2017年3月から半年間を目安に一陽会クリニックに外来通院透析をしている10名を対象として行っています。管理栄養士による栄養指導を毎月1回行い、月2回定期的に行っている血液採血データと上腕周囲長・皮下脂肪厚の測定データを収集し、医師・透析室スタッフ・管理栄養士がミーティングを重ねて指導していくことによって患者さんの栄養状態が改善できるかを検討します。この取り組みが栄養状態改善に繋がると確信できれば一陽会4施設の透析室での栄養指導をNST (Nutrition Support Team) と同様の活動に変更し、強化していきたいと思っています。透析時間の延長も行っていかなければなりません。現時点でベッドの確保が困難なため、在宅血液透析とオーバーナイト透析以外で時間延長することは困難な状況であり申し訳なく感じています。一人でも多くの患者さんが透析時間を延長できるシステムを築いていくことも今後の課題の一つです。透析患者さんには適度な運動をしていただき「しっかり食べてしっかり透析！」を目標に1日でも長く元気に通院してもらいたいと思っています。



皮下脂肪厚の測定

嚥下調整食について

2016年4月より、「嚥下調整食」の取り組みを始めました。嚥下調整食とは嚥下機能に配慮して調整した食事の名称です。「嚥下」とは水分や食べ物を口の中に取り込んで、咽頭から食道・胃へ送り込むことです。これらの過程でどこかがうまくいなくなる状態を「嚥下障害」といいます。一般的な「きざみ食」は口腔内でまとまりがなく、飲み込みづらいことがわかってきました。そこで嚥下障害のある方には弱い力でも噛める「かたさ」であること、口の中で適度なまとまりやすさ「凝集性」があること、咽頭に貼りつきにくい程度の「付着性」が必要になってきます。当院の嚥下調整食は「摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」の基準により区分しています。食事提供の際は患者さんや家族の方にわかりやすいよう「とろみ食」「ソフト食」などの名称で提供しています。患者さんに適した食事区分は主治医・言語聴覚士が行い、「食べる」機能を維持し、摂食嚥下障害によって引き起こされるQOL（生活の質）の低下、低栄養などを防ぎ、改善を図る手段としての適切な嚥下調整食の提供は生きがいをもたらすことにつながると考えています。栄養科では嚥下調整食の食事指導も行っていますので、ご家庭での調理方法など不安のある方はお気軽にご相談ください。



栄養科 主任 藤本 智恵

地域連携室 移転のお知らせ

昨年12月、病院の改築に伴い地域連携室が移転しました（別図）。

新しい場所は受付や会計とつながっており、他の事務職員との情報共有もスムーズになりました。今後も素早い相談対応を目指してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

～地域連携室について～

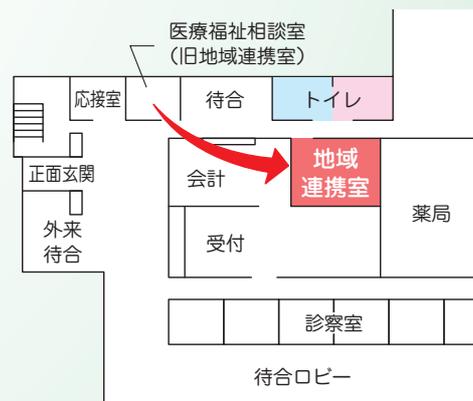
地域連携室には、医療・福祉分野の専門職となる医療ソーシャルワーカーがおります。

地域と当院をつなぐ架け橋として、他施設からの受診や入院のご相談、その他さまざまな問い合わせに対する窓口の役割を担っています。

また「医療費が心配」、「介護保険の使い方がわからない」、「障害者手帳や障害年金について知りたい」等々、患者さんからのご相談にも対応致しております。退院時の「退院する自信がない」「長期で入院が出来る病院（施設）が知りたい」などといった場合には、退院される際にご自宅に訪問し、自宅の環境調査を行ったり、必要に応じて地域の病院や介護施設をご紹介したりするなどの支援を行なっています。

病気やけがなどが原因で今までどおりの生活を送ることが難しくなった時、私達ソーシャルワーカーが何かお役にたてるかもしれません。お気軽にご相談ください。

地域連携課 課長 佐々木 章



「新年度より新体制となりました！」

《相談受付時間》

月～土曜日 9時～18時（日・祝は休み）

いきいきさん

第38回 透析情報科 主任 菅由香里

透析医療の進歩に貢献していきたい！

平成27年4月に臨床工学科から移動となり透析情報科で勤務しています。透析室で勤務するスタッフの裏方的存在であり、一陽会の透析の方向性を検討しながら透析業務が円滑に行われるようサポートしていくのが主な仕事です。一陽会は1992年より日機装と共に透析支援システムを共同開発してきました。

透析支援システムを導入することによりインシデントの発生件数は

激減し、患者さんに安全な透析を提供できるようになりました。また、スタッフの業務がかなり時間短縮され患者さんとお話できる時間が増えました。現在もFuture Net Web+をはじめ透析に関連する装置の進歩を目指し共同開発を続けています。臨床工学技士として透析業務に従事していた時の知識を生かし、今後の透析医療の進歩に貢献していきたいと思います。



健康レシピ

《材料(1人分)》
エネルギー159Kcal
たんぱく質12.6g、塩分0.4g

《材料》

白身魚	60g
こしょう	適量
小麦粉	適量
粒入りマスタード	5g(小さじ1杯弱)
マヨネーズ	12g(大さじ1杯)

《作り方》

- ①魚に小麦粉をまぶす。
- ②オーブンで魚を焼く。(250℃で8分程度)
- ③粒入りマスタードとマヨネーズを混ぜ合わせる。
- ④焼いた魚の上に、③を塗り、表面に焼き色が付くまで焼く。
(ご自宅にトースターがない場合は、フライパンでも代用可能です。)

白身魚のマスタード焼き

香辛料を使った魚料理のご紹介です。マスタード焼きは、焼いた魚の上に粒マスタード入りのマヨネーズソースをのせて焼いたもので、減塩を意識し



た調理法となっています。魚には一切下味をつけず、香辛料の刺激を利用して減塩をしています。ソースに使うマスタードとマヨネーズの塩分量は、今回の使用量で合わせて0.4gです。塩分は少ないですが、マスタードの刺激とマヨネーズのコクで減塩の物足りなさを補ってくれます。このふたつの調味料は、調味料の中でも比較的塩分量が少ないものです。ソースが焼けた香ばしい匂いが食欲をそそる1品です。

是非、お試しください。

管理栄養士 門脇 貴子

原田病院外来診察担当表 (平成29年4月1日～)

●診察時間 午前9時～午後12時 午後4時～午後6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□ 一般内科外来 □ 糖尿病外来 □ 泌尿器科外来 □ 整形外科外来 □ 慢性腎臓病(CKD)外来 □ 在宅血液透析(HHD)外来

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	1診	長崎	山下秀樹	重本	西澤	小野	重本
	2診	佐々木	西澤	水入(腎臓内科)	水入(腎臓内科)	山下秀樹	原武
	3診	藤井(血液内科)	大下	藤野	小野	大下	浅井
	4診 DM	内藤	小林(貴)	内藤	原田	原田	堀江
	5診 整形外科	宮崎	石田	石田	石田	長崎	佐々木
	6診 初診	藤野	浅井	原田	宮崎	原武	小林(知)
	7診	藤田	藤田	藤田	堀江	藤田	広大医師
	放射線科	石根、樋口	石根	石根、広大	石根	石根、広大	樋口、広大
午後	1診	15:00～16:00(第4週目) /16:00～18:00 循環器 木原/原武	16:00～18:00 浅野	15:00～18:00 碓井	16:00～18:00 原武	16:00～18:00 宮崎	16:00～18:00 芦谷
	2診	14:30～16:30(不定期) 呼吸器 濱田	14:00～16:00/16:00～18:00 呼吸器/一般内科 坂本	16:00～18:00 芦谷	14:00～16:00 PD 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	16:00～18:00 堀江
	3診	—	14:20～16:00 CKD 水入	15:00～18:00 血液内科 三原	14:00～16:00 CKD 水入	14:30～16:00 CKD 西澤	—
	4診	14:00～15:00 禁煙外来 内藤	—	16:00～18:00(第2週目) /16:30～18:00 オーバーナイトHHD/HHD 西澤	14:00～15:00 特定健診 堀江	—	—
	5診	14:00～18:00 整形外科 金光	14:00～15:00 特定健診 大下	16:00～18:00 佐々木	—	14:00～17:30 整形外科 島岡	—
	6診	13:00～16:00 フットケア 堀江	—	—	—	—	—
	7診	14:00～16:00/16:00～16:30 リウマチ・膠原病/一般内科 吉田	—	16:00～18:00(第2週目) オーバーナイトHHD 小野	—	—	—
	放射線科	石根	石根	石根	石根	石根	樋口

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

一陽会

原田病院 院長 重本 憲一郎

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一陽会クリニック 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

デイケアあさひ 所長 畑 千恵

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600

イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横川クリニック 院長 山下 和臣

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

クローバー訪問看護ステーション 所長 大泉 淳
クローバー在宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号(原田病院内)
TEL 082-925-6222(訪問看護) 082-925-6221(在宅介護)
FAX 082-925-6223(共通)

ケアレジデンス楽々園 施設長 吉田 美幸
デイサービス楽々園 所長 西 幸子
クローバーヘルパーステーション 所長 甲斐 慎一郎

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686(ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585(デイサービス楽々園)
082-943-7088(ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588(共通)

あさひメディコ

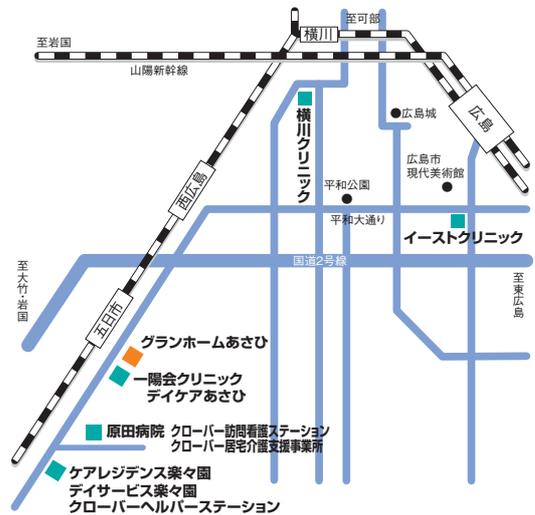
グランホームあさひ 施設長 日高 直美

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161(代) FAX 082-921-8035
ホームページ <http://www.icy.or.jp> E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

梅の花が咲く頃から鳴き始めることから「春告鳥」とも呼ばれるウグイス。今年は天候不順のためか、原田病院となりの海老山では、真夏目前のこの時期になっても「ホーホケキョ」の鳴き声が響いています。◆例年春にしか聞くことのない「ホーホケキョ」。求愛のための鳴き声で、最初の「ホー」はメインの「ホケキョ」を言うための吸息の際にでる声だそうです。早春には「ホーホキョ」「ホーホキョキョ」といったおかしな声をよく耳にしますが、これは「ぐぜり鳴き」と呼ばれ、上手に鳴くための練習をしている声なのだそうです。◆ウグイスは、よくメジロと混同されます。梅にウグイスという組み合わせをよく見かけますが、梅の蜜を吸いに来るのはほとんどの場合がメジロで、藪の中で虫を食べるウグイスがそういう姿で見られることはほぼないそうです。「ウグイス色」というメジロのような鮮やかな緑があった色を連想する方も多いでしょうが、ウグイスは茶褐色で、JIS慣用色名に定められているウグイス色は茶と黒のまざったような色なのだそうです。◆間もなく本格的な夏がやってきます。海老山のウグイスもそのころには涼しい山に入り巣作りをしていることでしょう。山に戻るとウグイスは「チャチャチャ」という鳴き声に代わるそうです。避暑を兼ねて山奥を訪れウグイスの声を探すなどするのも楽しいかも知れません。(N.U)